

資料の説明

この資料集は、2007年11月24日に行われる、東京大学立花ゼミ駒場祭講演会「立花隆の憲法集中講義」のための資料集です。

内容に関しては、当日の立花隆の講演予定内容に沿った形で資料をまとめています。ただし、一部の内容は当日の講演とは直接関係なくとも、憲法自体（もしくは、終戦前後の第二次世界大戦の歴史）への理解を深めるために必要と思われた場合は掲載しています。

内容は、大きく3つのパートに分かれています（「憲法典関連」「第二次世界大戦前後の歴史」「日本国憲法制定まで」）。資料は全部で22章あり、またそれに付随した資料（図版）が掲載されています。これらの詳しい内容については、目次をご覧ください。

この資料集は、すべてゼミ生の分担によって書かれたものです。それぞれの執筆者は、以下に記すとおりです。

1,2,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18 章
… 白川 達朗（東京大学教養学部1年）

3,4,19,21,22 章
… 関 翔平（東京大学教養学部1年）

8,20 章
… 森本和義（創価大学経済学部4年）

5 章
… 大沢卓士（東京大学教養学部2年）

この資料についてご不明な点がございましたら、お気軽にゼミ生までお問い合わせ下さい。また、この資料は、同内容のものがインターネット上に公開されていますので、あわせてご利用下さい。（<http://www.kenbunden.net/constitution/files/>）

この資料集が、皆様の講演会理解と、憲法制定の過程の理解の一助となれば、ゼミ生として大変嬉しく思います。

2007年11月24日
東京大学立花ゼミ
ゼミ生一同